

団塊のカタログ

トシタロー・クラフィティ

笛吹童子

月ヒャーリ ヒャリコ ヒャリーコ ヒャレロ

だれが吹くのか 不思議な笛だ

ヒャーリ ヒャーリコ ヒャリーコ ヒャレロ

音も静かに 魔法の笛だ

ヒャーリ ヒャリコ ヒャリーコ ヒャレロ

タンタンタン タンタンタン

野ーこえ やーまこえ

まどち な歌詞より擬音の方がはるかに多いこの歌、50才デコ

ボコの**団塊の世代**で、この「**笛吹童子**」を知らないヤツは男女問わず絶対にいない。

昭和27年4月、NHKラジオで北村寿夫作福田蘭童音楽の「**新話国物語**」が始まった。

最後に**正義が勝つ**という日本人向けのわかりやすいストーリーで、妖術・幻術（どう違うのかは知らん）や竜とか驚が出てくる痛快冒険時代活劇シリーズである。

第1部**白鳥の騎士**、第2部**笛吹童子**、第3部**紅孔雀**、第4部**オテナの塔**、第5部**黄金十字城**ということだが、まだ4つか5つの頃で残念なことにこのラジオ放送の記憶はない。

では**東映**で映画化された昭和29年かということ、そうでもないのだ。

湯島小学校の校庭が**湯島天神**の境内かは定かでないが、夏休みになるとこれらの広場に白いスクリーンが張られ「夏休み子供映画大会」なるものが開催された時だったと思う。

スクリーンはかりそめに張ってあるだけだから風が吹くとモロにゆれて、人物も背景も

情けないことにゆがんでしまう。

スピーカーも、1つしかないところへもってきて、後ろの観客にも聞こえるようにボリュームを目一杯上げるものだから、モロに音が割れる。夏だから蚊も出てくる。蚊取線香もたかれるが、屁の役にも立ちやしない。

ゆがんだ画面と割れた音声の、そんな「**笛吹童子**」ではあったが、当時は娯楽が少なかつたからそれなりに楽しめたものである。

室町時代

は応仁の乱の頃、舞台は**丹波**（今の京都）の国の**満月城**。名前からして悪人とすぐわかる

赤柿玄蕃ひさいる野武士の一団に城を乗つとられた**萩丸**と**菊丸**の兄弟が、力合わせて城を取り返すという修身教育モノである。

弟の**菊丸**は小さい頃から笛を吹くのがうまうまく**笛吹童子**と呼ばれており、面造りの修行に明の国にきていたが、その師匠が造った**されこうべの面**が何者かに盗まれてしまう。

一方、兄の**萩丸**は家来の**上月右門**とともに**赤柿玄蕃**に乗っ取られている**満月城**を取り返すべく勇敢にも乗り込むのだが、逆にアツサリ捕えられ、**菊丸**の師匠が盗まれた例の**されこうべの面**を顔に付けられる羽目になる。

面を盗んだのは**玄蕃**だったのだ。

右門は妻の**浅茅**と娘の**桔梗**の所に逃げ込むが、**玄蕃**の手下**斑鳩隼人**に見つかる。

隼人は武士の情けで見逃すが、**玄蕃**にバレて**萩丸**の隣の牢に閉じ込められる。

桔梗はグーゼンにも**隼人**の妹**志野**に出会い命の恩人の**隼人**が捕えられているのを聞き、**満月城**に乗り込むが、これも期待を裏切らず

アッサリ捕まってくれる。

隼人と桔梗が処刑されそうになるその時、竜に乗った霧の小次郎という幻術使いが突如現れ、大江山に連れていかれる。

小次郎は3才の時に別れた妹の胡蝶尼こちょうにを探しているのだが、さらって来た桔梗との同棲が始まって何日かたったある日、満月城へと急ぐ菊丸が通りかかり、妖術を打ち破るといわれる魔法の笛をいきなり吹きだす。

小次郎は桔梗にその笛をくすねてくるように女郎蜘蛛の術をかけるが、笛の音が桔梗の目を覚まさせる。(さすが魔法の笛である)

術を破られた自分の未熟さをタナに上げ、小次郎はおシオキだべえと桔梗をSMよろしく綱でガンジガラメにしばり、白骨谷に吊り下げてニンマリする。

そこへ大鷲おしがどこかから飛んできて、桔梗を刀鍛冶の雪山かたなかじの所へ連れて行く。

桔梗は雪山に、満月城や霧の小次郎のことなどを一通り話した後、再びごていねいにも行方不明になる。

雪山は霧の小次郎の住む大江山を訪れ、將軍の弟の東山義晴の長男さくら丸であることを知る。

10年ほど前に都を襲った応仁の乱、当時3才の小次郎と妹の胡蝶尼をつれて逃げたのが雪山夫婦であった。

雪山とはくれたさくら丸は先代の霧の小次郎に拾われ、幻術を習ったという。

妹の胡蝶尼であるが、こちらもグーゼン同じ丹波の国にいて、黒髪山の堤婆という、名前からしていかにタチの悪そうな妖術使いに育てられており、そこにはグーゼンにもあの斑鳩隼人が囚われており、さらに桔梗もこの堤婆がさらっていたのであった。

桔梗と隼人は胡蝶尼の手引きで黒髪山を逃げ出し、とある民家に駆け込んだところで舞台は一転して丹波の国に移る。

萩丸はふとしたスキに牢を抜け出すのに成功するのだが、途中グーゼンにも上月右門に出会う。

玄蕃につけられたされこうべの面は顔の肉に食い込んではずれず、萩丸は右門にドクロ妖怪と間違えられてしまい、これまたグーゼンにも桔梗のいる農家に逃げ込む。

桔梗に迷惑をかけてはならぬと、萩丸は農家を抜けだすのだが、途中でまたまたグーゼンにも右門に出会い、斬られそうになる。

「やめろ、右門」の声も聞き入れられず、追いつめられた萩丸は谷底へ落とされる。

右門は桔梗に会い、されこうべの男が萩丸であることを知る。(遅いんだってば)

一方、隼人と桔梗を逃がした胡蝶尼は堤婆の怒りをかい、銀の鎖につながれてしまう。

そこに小次郎がひょっこり現われ、胡蝶尼は大江山に連れていかれる。

小次郎を兄と信じられない胡蝶尼は大江山を逃げ出すのだが、追い付かれた小次郎ともめた際にあやまって谷底に落ちてしまう。

悔やんでも後の祭り、小次郎は大事にしていたお守り白鳥玉アフター・フェスティバルを谷底に投げる。

断崖絶壁から落っこちた正義の味方はおおむね助かることになっているのがこの頃の東映映画のお約束で、萩丸と胡蝶尼もムロン助かり、谷底には別々に落とされたにもかかわらずグーゼンにも同じところに流れつく。

岩にでもあたったのか、されこうべの面は萩丸の顔から取れてはいるが、顔面は血だらけで身動きできない。

胡蝶尼が谷を登って行くと、そこにはグーゼンにも赤柿玄蕃と部下の黒彦くろひこがいた。

萩丸が倒れているのを聞いて喜ぶ玄蕃、ウヒヒとばかりに胡蝶尼に案内させ谷底まで下りて行くのだが、誰もいない。

玄蕃は胡蝶尼の持っている白鳥玉に気付き

奪おうとするが、^{もくすけ}**空介**という狩人にジャマされ、**胡蝶尼**は**火祭山**に連れて行かれる。

この^{ふじえ}**空介**の母親**藤江**こそ、グーゼンにも**胡蝶尼**のかつての乳母であり、白骨谷から大鷲につれられてきた**桔梗**をかくまった刀工**雪山**の妻その人であった。

藤江が**胡蝶尼**のお守り袋を見せてもらおうとそこには東山宰相義晴の娘と記されており、あらためて將軍の姪とわかる。

さくら丸という兄がいることも聞かすが、それが霧の**小次郎**だとはまだ信じられない。

一方 **萩丸**の顔から取れたされこうべの面は真つ二つに割れ、**白蓮尼**という尼僧に拾われていた。

血が付いているのに驚いた**白蓮尼**は**火祭山**の谷に入って行き、通りかかった鉄砲吉の力を借り、谷底で倒れていた**萩丸**を助ける。

この**白蓮尼**と吉は**白鳥党**の一員で、**萩丸**・**菊丸**の丹羽家もその家柄であった。党といっても、^{じみん}待眠党とか^{きょうさん}恐惨党とは違って、正義の味方の総称なのだ。

赤柿玄番は**されこうべ党**で、こちらが悪役商会であることはいうまでもない。

さて、**胡蝶尼**の持っている**白鳥玉**は城主のシルシであるから何としても手に入りたい、**萩丸**は**満月城**の跡継ぎだから早く息の根をとめたい、というわけでこの2人を探さべく**玄番**と**黒彦**は再び出かけ、グーゼンにも**萩丸**は**玄番**と、**鉄砲吉**は**黒彦**に出会う。

黒彦も実は**白鳥党**員、**満月城**の様子を探る目的で忍び込んだスパイだったのである。

萩丸は**玄番**を相手に苦戦していたが、鉄砲吉に救われ、**白蓮尼**のいる寺へもどる。

ある日、**白蓮**が2つに割れた例の**されこうべ**の面を取り出して見ていると、外から美しい笛の音が流れてくる。

「**菊丸**の吹く笛の音のようだ」と思っていると、キツチリその通りであった。

久し振りの再会であったが、**満月城**再興を目指す**萩丸**に対し、**菊丸**は**されこうべ**の面の魔力を破る**白鳥**の面作りを主張する。翌日、何者かに**されこうべ**の面は盗まれる。

一方、**小次郎**は**萩丸**の亡霊に化け、**胡蝶尼**をさらってくるよう**右門**に言いつける。

コロっとだまされるアホな**右門**、**胡蝶尼**を連れていこうとするのだが、逆に**桔梗**と**萩丸**が生きていることを聞いて驚く。

胡蝶尼をねらっているのは**小次郎**だけではない。

この兄妹の父**東山義晴**を応仁の乱のドサクサにまぎれて追い出したのが、時の將軍家の執事職の**細川春貞**というヤツで、こいつがあの**玄蕃**の親分ときている。

成人した子供たちが復讐にやってくるのを何よりも恐れる**春貞**は、**玄番**に**胡蝶尼**をさらってくるように命じる。

萩丸はお家復興、**菊丸**は面作りと意見が割れたのに対し、悪者同士の話は早い。

正義の味方は信頼しあつてはいても意見の合わないことが多く、悪玉は相手を信用していなくても共通の利益のために意見が一致するところなどは今も変わりはない。

玄番は**胡蝶尼**を京の**観音寺**という寺につれて行き、尼の**伊勢**に世話させる。

胡蝶尼が来れば**白鳥玉**は手に入る、そうすれば晴れて**満月城**の城主として内外に認められるとあつて、**玄蕃**はニタリとする。

さて**斑鳩隼人**、なぜかあてもない旅に出るのだが、途中で黒覆面の男に呼び止められ、白髪の老人のもとに案内される。

この人こそ、先の**応仁**の乱で行方知れずとされていた宰相・^{ひがしやまよしはる}**東山義晴**、即ち、**さくら丸**(=霧の**小次郎**)と**胡蝶尼**の父であり、將軍の弟でもあるその人だったのだ。

この**義晴**も実は**白鳥党**で、**隼人**は**胡蝶尼**が生きていることを告げる。

満月城へと向かう胡蝶尼は**三日月童子**にさらわれ、**忍ぶガ岳**に連れ込まれる。(それにしてもよくさらわれる**胡蝶尼**だこと)

童子も実は**されこうべ**党、**白鳥玉**を大量生産して世間を混乱させようとしているのだ。

主人公の一人**菊丸**は京で**白鳥**の面作りに励んでいたのだが、謎の老僧(実は**小次郎**)から2つに割れた**されこうべ**の面の修理を依頼される。

世に災いをもたらすといわれる例の面である。**菊丸**はその魔力を恐れ、打ち砕こうとするのだが思いとどまり、面を修復する。

されこうべの面の魔力を破るべく**白鳥**の面を完成させようというのなら、いつそブツ壊した方が早いと思うのだが、まあいいか。

その**菊丸**が住んでいた隣に、かつて**胡蝶尼**が世話になった**観音寺**があった。

それだけでもグーゼンだが、その**尼伊勢**こそ**萩丸**・**菊丸**兄弟の実母であり、**桔梗**も単身赴任で働いているときたもんだ。

驚く間もなく、**菊丸**のいなくなった空き家に、**三日月童子**の魔の手から逃れた**胡蝶尼**がグーゼンにも引っ越してくる。

その頃 京の都には夜な夜な黒装束黒覆面の怪人が現れ、若い娘と見ればさらってしまうのだが、別に痴漢ではなく、**されこうべ**の面をかぶった霧の**小次郎**で、妹の**胡蝶尼**を探すためなのだ。

面が顔の肉にくらいついて離れないところは**萩丸**の時と同じであるが、これをジャマする黒装束黒覆面の女が**胡蝶尼**だというのだから、どうにもおかしい兄妹である。

京に残った**菊丸**はある夜**小次郎**に出会い、あと一息というところまで追い詰めるのだが**小次郎**の保護者**雪山**にジャマされる。

そんな**菊丸**を**萩丸**と**右門**が訪れ、共にお家再興のために戦おうと迫るのだが、やがて完成する**白鳥**の面で**小次郎**の持つ**されこうべ**の

面を打ち破るのだと主張してゆずらない。

だったら直すんじゃないかと思ったかどうかは知らないが、**萩丸**と**右門**は**菊丸**を見限り、一路満月城へと向かう。

やがて**白鳥**の面は完成し、**菊丸**が待ち受けているとそこにちょうど**小次郎**が現れ、**菊丸**がふところから**白鳥**の面を取り出すと、**されこうべ**の面めがけて飛んで行き、面は2つとも割れて砕ける。

それぞれに驚く**菊丸**と**小次郎**と**胡蝶尼**、そこに**三日月童子**が突然現れ、**胡蝶尼**をさらおうとするが、**小次郎**にジャマされる。

なおもあきらめない童子の放った毒矢が**胡蝶尼**をおそうのだが、**小次郎**は愛する妹をかばい、イジらしくも矢を受ける。

かけよる**菊丸**と**胡蝶尼**、そこに**斑鳩隼人**率いる**白鳥**党員、さらに**小次郎**と**胡蝶尼**の父**東山義晴**も姿を現す。

兄とわかつて泣きじゃくる**胡蝶尼**、「ロミオとジュリエット」でもそうだが、誤解がとけるのは大体手遅れになってからである。

さて、**萩丸**・**菊丸**と**右門**を中心とした丹羽家の人々と**東山義晴**ひきいる**白鳥**党軍団は、**白蓮**が明の国(中国)からヒソカにとりよせた(早い話が密輸)鉄砲を手に満月城に乗り込み、につくき**赤柿玄蕃**とその他大勢の**されこうべ**党をミゴトに打ち倒す。

こうして、予定通り正義が勝ち悪が滅び、**エイ・エイ・オー**と勝鬨の声(からどき)が上がる。

笛吹童子 はチャンバラごっこ(からどき)の原点であった。

ジャンケンで勝った**白鳥**党と負けた**されこうべ**党にわけるところから、まずは始まる。

玄蕃役が倒れた後で「正義は勝つのだ」としめ、オモチャの刀を突き出して**エイ・エイ・オー**とやる快感といったらなかった。

その後すぐ**されこうべ**党は生き返り、立場が逆転する束の間ではあるのだが……